

3 岐阜県工業用水道事業の業務の状況

可茂地域は、東海環状自動車道東回りの整備開通に伴い、交通の利便性が格段に向上し、安定した地盤など立地に恵まれた環境であることから企業進出が進んでいます。

可茂工業用水道事業については、美濃加茂市の企業へ給水を行っており、今後も水需要を見極めながら、新規需要の開拓に引き続き最善の努力をする方針です。

令和3年度（上半期）の状況

1 概 況

区 分	今 期	前 年 同 期	比 較 増 減	対前年比率
給水先事業所	12カ所	12カ所	0カ所	100.0 %
契 約 水 量	4,212m ³ /日	4,248m ³ /日	△36m ³ /日	99.2 %

2 経理の状況

本年度9月末までの経理状況は次のとおりで、前年同期と比べ、収益は3.0%の増加、費用は1.0%の減少となっています。収益の増加については、給水収益の増加によるものです。

経理の状況

区 分	今 期	前 年 同 期	比 較 増 減	対前年比率
	円	円	円	%
収 益	43,751,946	42,474,206	1,277,740	103.0
費 用	8,306,930	8,392,155	△ 85,225	99.0
差 引	35,445,016	34,082,051	1,362,965	104.0

(減価償却費を除く。)

令和3年度岐阜県工業用水道事業残高試算表

(令和3年9月30日現在)

(単位：円)

1,750,107,876	固 定 資 産	
1,525,151,360	有 形 固 定 資 産	
224,956,516	無 形 固 定 資 産	
113,707,292	流 動 資 産	
104,997,116	現 金 預 金	
7,862,824	未 収 金	
0	前 払 金	
847,352	そ の 他 流 動 資 産	
	固 定 負 債	659,211,854
	企 業 債	188,368,586
	他 会 計 借 入 金	468,510,926
	引 当 金	2,332,342
	流 動 負 債	30,174,068
	企 業 債	22,716,690
	他 会 計 借 入 金	2,683,775
	そ の 他 流 動 負 債	4,372,186
	引 当 金	401,417
	繰 延 収 益	268,956,477
	長 期 前 受 金*1	437,631,126
168,674,649	長 期 前 受 金 収 益 化 累 計 額*2	
	資 本 金	735,955,536
	剰 余 金	134,072,217
	資 本 剰 余 金	76,293,396
	利 益 剰 余 金	57,778,821
	工 業 用 水 道 事 業 収 益	43,751,946
	営 業 収 益	43,507,847
	営 業 外 収 益	244,099
8,306,930	工 業 用 水 道 事 業 費 用	
6,528,365	営 業 費 用	
1,778,565	営 業 外 費 用	
1,872,122,098	合 計	1,872,122,098

令和2年度岐阜県工業用水道事業決算について

令和2年度は、美濃加茂市内の企業10社及び坂祝町内の企業1社に対して給水を行いました。

1 給水量

年間給水量は、6.9%の増加となりました。

給 水 実 績

区 分	令和2年度	令和元年度	比較増減	対前年比率
	m ³	m ³	m ³	%
可茂工業用水道事業	1,566,031	1,464,451	101,580	106.9

2 収益的収入・支出

事業収益は、前年度に比べ20.1%の増加となりました。これは主に、給水収益の増加や、固定資産修正のため計上した特別利益によるものです。

また、事業費用は、前年度に比べ10.5%の増加となりました。これは主に、固定資産修正のため計上した特別損失によるものです。

以上の結果、当年度純利益は34,611,164円となりました。

収益的収入・支出

区 分	令和2年度	令和元年度	比較増減	対前年比率
	円	円	円	%
工業用水道事業収益	112,597,141	93,731,348	18,865,793	120.1
営業収益	84,278,065	79,074,349	5,203,716	106.6
営業外収益	9,902,240	14,656,999	△ 4,754,759	67.6
特別収益	18,416,836	0	18,416,836	皆増
工業用水道事業費用	77,985,977	70,563,691	7,422,286	110.5
営業費用	64,010,601	65,528,398	△ 1,517,797	97.7
営業外費用	4,956,693	5,035,293	△ 78,600	98.4
特別費用	9,018,683	0	9,018,683	皆増
当年度純利益	34,611,164	23,167,657	11,443,507	149.4

3 資本的収入・支出

資本的収入は、前年に比べ1,945.5%の増加となりました。これは、企業債を借入したことによるものです。また、資本的支出は、前年度に比べ140.5%の増加となりました。これは、耐震管の布設工事等による建設改良費の増加によるものです。

資本的收入・支出

区 分	令和2年度	令和元年度	比較増減	対前年比率
	円	円	円	%
資本的收入	91,866,000	4,722,000	87,144,000	1,945.5
出資金	2,066,000	4,722,000	△ 2,656,000	43.8
企業債	89,800,000	0	89,800,000	皆増
資本的支出	153,474,521	63,816,405	89,658,116	240.5
建設改良費	105,066,100	17,008,880	88,057,220	617.7
企業債償還金	44,547,145	43,525,149	1,021,996	102.3
長期借入金償還金	3,861,276	3,282,376	578,900	117.6
差 引	△ 61,608,521	△ 59,094,405	△ 2,514,116	104.3

令和2年度岐阜県工業用水道事業損益計算書

(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

(単位：円)

1 営業収益			
給水収益	<u>84,278,065</u>	84,278,065	
2 営業費用			
(1) 原水及び浄水費*3	13,275,034		
(2) 総係費*4	3,033,859		
(3) 減価償却費*5	43,849,331		
(4) 資産減耗費*6	<u>3,852,377</u>	<u>64,010,601</u>	
営業利益			20,267,464
3 営業外収益			
(1) 受取利息及び配当金	15,014		
(2) 長期前受金戻入*1	9,872,270		
(3) 雑収益	<u>14,956</u>	9,902,240	
4 営業外費用			
(1) 支払利息及び企業債取扱諸費	4,013,297		
(2) 雑支出	<u>943,396</u>	<u>4,956,693</u>	<u>4,945,547</u>
経常利益			25,213,011
5 特別利益			
(1) 過年度損益修正益	<u>18,416,836</u>	<u>18,416,836</u>	
6 特別損失			
(1) 過年度損益修正損	<u>9,018,683</u>	<u>9,018,683</u>	
当年度純利益			34,611,164
前年度繰越利益剰余金			<u>0</u>

その他未処分利益剰余金変動額	<u>23,167,657</u>
当年度未処分利益剰余金	<u>57,778,821</u>

令和2年度岐阜県工業用水道事業貸借対照表

(令和3年3月31日)

(単位：円)

資 産 の 部		
1 固定資産		
(1) 有形固定資産		
イ 土地	284,693,224	
ロ 構築物	1,789,608,736	
減価償却累計額	<u>△ 657,107,649</u>	1,132,501,087
ハ 機械及び装置	39,749,388	
減価償却累計額	<u>△ 25,187,638</u>	14,561,750
ニ 建設仮勘定*7	<u>70,761,299</u>	
有形固定資産合計		1,502,517,360
(2) 無形固定資産		
イ ダム使用権	<u>224,956,516</u>	
無形固定資産合計		<u>224,956,516</u>
固定資産合計		1,727,473,876
2 流動資産		
(1) 現金預金	110,685,281	
(2) 未収金	<u>13,736,670</u>	
流動資産合計		<u>124,421,951</u>
資産合計		<u>1,851,895,827</u>
負 債 の 部		
3 固定負債		
(1) 企業債		
イ 建設改良費等の財源に 充てるための企業債	<u>188,368,586</u>	
企業債合計		188,368,586
(2) 他会計借入金		
イ 建設改良費等の財源に 充てるための長期借入金	<u>468,510,926</u>	
他会計借入金合計		468,510,926
(3) 引当金*8		
イ 退職給付引当金	1,683,344	
ロ その他引当金	<u>648,998</u>	
引当金合計		<u>2,332,342</u>
固定負債合計		659,211,854

4 流動負債

(1) 企業債

イ 建設改良費等の財源に
充てるための企業債
企業債合計 45,172,248

45,172,248

(2) 他会計借入金

イ 建設改良費等の財源に
充てるための長期借入金
他会計借入金合計 2,683,775

2,683,775

(3) 未払金

9,136,027

(4) 引当金

イ 賞与引当金 493,749

ロ その他引当金 401,000

引当金合計

894,749

(5) その他流動負債

イ 預り金 23,944

その他流動負債合計

23,944

流動負債合計

57,910,743

5 繰延収益

長期前受金*1

433,420,126

収益化累計額*2

△168,674,649

繰延収益合計

264,745,477

負債合計

981,868,074

資 本 の 部

6 資本金

735,955,536

7 剰余金

(1) 資本剰余金

イ その他資本剰余金 76,293,396

資本剰余金合計

76,293,396

(2) 利益剰余金

イ 当年度未処分利益剰余金 57,778,821

利益剰余金合計

57,778,821

剰余金合計

134,072,217

資本合計

870,027,753

負債資本合計

1,851,895,827

* 1 長期前受金、長期前受金戻入

減価償却を行う固定資産の取得又は改良に充てるため補助金等の交付を受けた場合において、その交付を受けた金額に相当する額を長期前受金として計上します。

また、長期前受金として計上した額のうち、当年度の減価償却見合い分を長期前受金戻入として計上します。

* 2 長期前受金収益化累計額

長期前受金戻入をした額の合計です。

* 3 原水及び浄水費

主に工業用水を作ったり、施設を維持するための費用です。

* 4 総係費

主に事業の経営管理などを行うための費用です。

* 5 減価償却費

建物や機器等の固定資産は、使用や時間の経過によってその経済的価値が減少していきます。この減少額を毎事業年度の費用として配分することを減価償却といいます。

* 6 資産減耗費

固定資産が使用によって滅失し、また機能的に使用に耐えなくなったときは、この固定資産を廃棄します。この場合、固定資産の減価償却費として費用化されていない額を資産減耗費として計上します。

* 7 建設仮勘定

巨額の資産の建設等については、完成までその建設期間中の資産について、一時的に使用する勘定科目（建設仮勘定）で整理します。

* 8 引当金

将来発生する費用に備えるために計上する科目です。

工業用水道事業会計には退職給付引当金と賞与引当金、その他引当金の三つがあります。